

# グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール [shikoku\\_soumu@rinya.maff.go.jp](mailto:shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp)



四国山の日

No.1098 2011年9月号

## 四国林政連絡協議会の開催

四国各県の林務担当部局、(独)森林総合研究所四国支所、同林木育種センター関西育種場、同森林農地整備センター中国四国整備局参加のもと、林野庁担当官を招き第37回四国林政連絡協議会を開催。

【詳細は2頁】



四国林政連絡協議会の様子



2011・国際森林年

## 四国林政連絡協議会を開催

〈企画調整室〉



九月七日、四国森林管理局において、四国各県の林務担当部局、(独)森林総合研究所四国支所、同林木育種センター関西育種場、同森林農地整備センター中国四国整備局参加のもと、林野庁から担当官の出席を得て第三七回四国林政連絡協議会を開催しました。

開会にあたり会長の新木四国森林管理局長から、「この協議会は、四国地区における民有林行政と国有林野の管理経営との連携強化を図り、森林の適正な整備及び林業・木材産業の振興に資することとしており、この協議

会を機に、今後とも、ご参加の各構成機関と、より一層連携を深めながら、森林・林業等の課題について意見交換、情報交換等を行い、今後の方向を見定めていきたい。」と挨拶がありました。

次に開催県である高知県の田村林業振興・環境部長と林野庁計画課川村全国森林計画班担当課長補佐から挨拶がありました。

続いて、「四国山の日賞」選定団体の報告・審議、林野庁の重点施策である森林・林業基本計画と全国森林計画の改正ポイントについて説明が行われました。

その後、各機関から施業集約化、路網整備、人材育成に関する取組状況や課題等についての話題提供や、各県の林業振興施策の説明、森林総合研究所における林業再生に資す

る各種研究事例や国有林との連携の状況について説明が行われ、これらのおける保育作業の省力化試験地について、試験内容と現状について説明を受け、併せて育成途上の造林地を間近で見学しました。

## 「第一回国有林モニター勉強会」を開催

〈企画調整室〉



平成二三年八月三〇日、高知県吾川郡いの町において、平成二三年度第一回国有林モニター勉強会を開催しました。当日は好天に恵まれ、四国四県から国有林モニター一四名が参加されました。

## モニター勉強会

平成二三年八月三〇日、高知県吾川郡いの町において、平成二三年度第一回国有林モニター勉強会を開催しました。当日は好天に恵まれ、四国四県から国有林モニター一四名が参加されました。

ある桐ノサコ国有林では、森林技術センターが取り組んでいる人工造林地における保育作業の省力化試験地について、試験内容と現状について説明を受け、併せて育成途上の造林地を間近で見学しました。

次に吉野川上流域の天然林の見学を寒風山周辺の瀬戸山国有林で行い、四国の植生の垂直分布や現地の概況について説明を受け、実際に林内に入つて、天然林と人工林との違いを肌で感じていただきました。

最後に、嶺北森林管理局署早明浦治山事業所が実施している民有林の地すべり対策事業施工地に移動し、国が直轄事業で行っている地すべり対策工事について、施設の概要や必要性などの説明を受け、



平成二二年度に施工したアンカー工や集水井、現在工事中の床堀の状況を見学しました。

今回の勉強会に参加したモニターの方々は、天然林と人工林の違い、吉野川源流域の森林の状況

や四国森林管理局で行っている事業について、直接目にし、説明に大変熱心に聞き入っておられました。また、活発に質問や意見を述べられて、理解を深められていました。

また、活発に質問や意見を述べられて、理解を深められていました。

## 『夏休み木工教室』開催

### 『カップパカエルの貯金箱』

### 『ふくろう付き鉛筆立て』

### 『コロコロゲーム』作製

〈指導普及課〉



介良潮見台小学校第一放課後児童クラブ外四カ所、高知市初月ふれあいセンター外三カ所より講師依頼があり、高知市内の小

ラムは、森林教室及び木工教室です。森林教室では、森林への理解を深めてもらうた

学生及び保護者約四〇〇名を対象に七月二七日から八月二五日までの約一ヶ月間に森林環境教育を実施しました。カリキュ

め、森林の働きを紙芝居で説明し、その後、森林からの「おくりもの」である、小枝（森林整備から発生した物）及び竹を使っての木工教室を実施

しました。

放課後児童クラブは、先生と低学年の児童が主体で、保護者の方もいないことから、事前に各パーツに加工したものを使って『コロコロゲーム』を作製しました。その他に、『ふくろう付き鉛筆立て』『カップパカエルの貯金箱』を作製しました。

また、高知市教育委員が主催した各ふれあいセンターの「親子夏休み木工教室」では、のこぎりや、ナイフを使い小枝等加工して『コロコロゲーム』及び『カップパカエルの貯金箱』を作製し、特にのこぎりで竹を切るのに悪戦苦闘していました。その後、木製の「国際森林年ロゴマー

クパズル」や、けん玉ゲームなど、また、木製ゴム鉄砲射大会を行いました。今回実施した木工教室を、夏休みの宿題の自由研究課題としている小学生もいて、熱心に「この木の樹種名は何ですか。」など



森林教室（紙芝居）

